



J A U W
F U K U O K A

(一社)大学女性協会
福岡支部会報
2026.5.25
発行
第47号

新緑の候、会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

日頃より福岡支部の活動を温かく支えてくださり、心より感謝申し上げます。2025 年度も、皆様と共に歩み、講演会などを通じて、皆様と顔を合わせ、心ゆくまで語り合える豊かな時間を過ごすことができました。

この会報が、会員同士を繋ぐ場所となり、共有したひとときや皆様の活動の足跡に、改めて彩りを添えることができれば幸いです。

2025 年度全国総会・第 14 回定時会員総会

日時:2025 年 5 月 17 日(土)

場所: 万代シルバーホテル(新潟県新潟市)

「JA U W 2025 年度全国総会 於新潟」のご報告

石井支部長をはじめどなたも出席できないとのことで、当方が代理出席を致しました。

1. 支部長会(代理出席) 5/17(土) 14:00~16:00 於万代シルバーホテル

①議案書の確認、総会後の行事について説明されました。

②グループ討議:

A,B,C,D の 4 グループに分かれて、支部の現状や課題について協議しました。福岡は奈良、大分、熊本、長崎の各支部とCグループになり、会員への連絡体制、例会の場所の確保、ホームページの公開等々について、報告と意見交換を行いました。

③エクスカーション「新潟市會津八一記念館」を見学 17:00~18:00

會津八一は早稲田大学で教鞭をとったこともある美術史家、民俗学者であり、歌人や書家として知られているマルチ文化人でした。なお、「新潟記憶の文化館」には日本画の岩田正巳など、新潟が輩出した数々の文化人の記録・記憶が展示されていました。

2. 定時会員総会 5/18(日) 9:30~12:00 於万代シルバーホテル

①議案書の説明と承認

・一般社団法人認可後の体制について検討中とのこと説明されました。

・奨学金応募依頼が郵送からメールに変わるので要注意とのこと。

・社会福祉奨学生を1名減して金額を UP するそうです。

②公開講演会 13:15~14:30

「ゆかりの地 新潟でドナルド・キーン先生を想う」講師:南 加乃子さん

新潟をこよなく愛し、帰化されたキーン先生。図書館を作り、養子さんを迎え、志を繋いでおられるそうです。

③懇親会 17:00~19:00

新潟の豊かな食材を使ったコース料理、佐渡の民謡と踊りのアトラクションを楽しみました。

3. 研修旅行「新潟発日本製~継承と新たな価値づくりをつなぐ旅」5/19 8:00~

・そら野テラス, 三条市立大学, 燕三条地場産センタ, 無形文化財鋳起銅器玉川堂を訪れました。

・新潟の層の厚い文化と地場産業, そしてホスピタリティーを堪能しました。感謝!!

(福岡支部顧問 加藤仁美)

2025年度 福岡支部総会報告

日時:2025年6月1日(日)

場所:ホテルオークラ福岡「山里」

出席者:8名(委任状7名)

1. 開会の言葉 顧問:加藤 仁美
2. 支部長挨拶 支部長:石井 妙子
3. 議事

【報告事項】

- ① 2024年度事業報告 支部長:石井 妙子
- ② 2024年度決算報告 会計:松藤 泰代
- ③ 2024年度開会監査報告 監査:桑原 洋子



【審議事項】

- ① 2025年度事業計画 支部長:石井 妙子
 - ② 2025年度予算案 会計:松藤 泰代
 - 会員全員の連絡網作成の件 支部長:石井 妙子
「役員会に委ねる」
4. 卓話 加藤 仁美
「本部総会に出席して」
 5. 食事・懇親会
近況報告により次回の講演会の演者は持松さんに決まる。
 6. 閉会の言葉 道野 佐世

(桑原 洋子)

2025年度福岡支部9月例会(講演会)

日時:2025年9月7日(日)14:00-15:30

場所:警固公民館

講演:老舗企業に関する研究について 一伝統と革新一

講師:持松 志帆様(中村学園大学 流通科学部流通科学科)

参加者：9名(会員とゲストを合わせて)

9月最初の日曜日の午後、警固公民館で持松志帆さんがとても興味深いお話をしてくださいました。

老舗企業を「創業から100年以上を経過している」「3代以上にわたって業を受け継ぐことで生ずる伝統と格式を基盤にし、顧客の信用や愛顧を得て繁盛している事業者・企業」と定義したうえで、様々な業種から、持松さんが研究対象に選ばれたのはお酒を製造する企業です。日本は、世界を見渡してもダントツに老舗企業が多い国で、その数多

い老舗企業の上位10業種の第2位が清酒製造業で、第7位が酒小売業、第9位が酒類卸売業と10位までの間に酒関係が3業種入っていることから、研究対象としてお酒の製造業を選ばれたそうです。お話はここからが本題です。

老舗企業の特徴として論点を四つあげられ、二つの事例から具体的にお話してくださいました。

- ①創業の理念を軸とした伝統の継承
- ②地域の発展と共生
- ③新規発想によるイノベーション
- ④次世代への継承



お話を伺って、継続のためには創業時からの理念や社是の軸がぶれず、その軸に関わる人々が共有していることやそれを繰り返し確認することが重要だということ、また、その企業一つだけでは存続ができず、地域に貢献し、地域とともに発展することや地域に愛され相互に支えあう必要があるのだということがよくわかりました。さらに、現状の問題を打開するために新たな取り組みへの挑戦を続けていたり、次世代への継承のためにオンザジョブトレーニングなどの工夫を重ねたりしている企業が、これからも老舗企業として経営を続けていくのだろうと思いました。

持松さんが、近江商人の哲学「三方良し(売り手良し、買い手良し、世間良し)」に何度か触れられながら、最後に「将来良し」を加えて「四方良し」と話されたことにも納得がきました。

持松さんがお持ちくださったお酒や焼酎、クッキー、小袋などを参加者があみだくじで分け合い、最後まで学び多く楽しいひと時を過ごしました。

なお、当日参加が叶わなかった方で興味を持たれた方は、持松さんの研究ノートをインターネット上で検索してお読みください。「老舗企業の伝統継承と発展に関する予備的考察」というタイトルです。

(守山 恵子)

参画ネット講演会

日時：2025年11月30日(日)13:30-16:00

場所：アミカス 4階ホール

講演：「へえ、そうなんだ」からはじめる多様な性の社会づくり

LGBT家族と友人をつなぐ会 in 福岡による導入と活動紹介

講師：五十嵐ゆりさん(レインボーノッツ合同会社代表)

内容:① LGBTの家族と友人をつなぐ会 in 福岡からの報告

②レインボー・ノッツ合同会社代表 五十嵐ゆり氏による講演

福岡支部参加者:3名

2025年度の参画ネットの講演会では、性の多様性への理解を深める機会となりました。基礎的な知識はもちろん、行政や企業の取り組みについてもお話を伺うことができました。特に印象的だったのは、「アライ(Ally)」の大切さです。「アライ」は英語で「同盟」や「支援」を意味する Alliance が語源のことばで、LGBTQ+をはじめとするマイノリティを理解し支援する考え方そのものや、理解者・支持者であることを表明する人たちを表す言葉だそうです。「アライ」という言葉をただ知っているだけでなく、性の多様性について理解し偏見を持たずに受け入れ、支援する気持ちを持って行動することの必要を知ることができました。

(守山 恵子)

2025年度福岡支部 2026年1月例会(講演会)

日時:2026年1月12日(月)10:30~11:20

場所:警固公民館

講演:「身近な食べ物と食物アレルギー ~最近の食物アレルギー事情~」

講師:池本美智子様(九州栄養福祉大学・小児アレルギーエドゥケーター)

講師の池本美智子氏は、長年、国立病院で管理栄養士として勤務され、九州医療センター後、九州栄養福祉大学において、管理栄養士養成施設の教授として活躍されております。

専門は、小児の食物アレルギーです。本日は、食物アレルギーについて、基礎知識から食物アレルギー症状、原因食物や食品表示の義務(アレルギー表示)~診断と治療について講演をいただきました。内容は、印刷資料を準備いただき、スライドで、アレルギーの考え方や治療法の変遷などを年代ごとに話され、とても分かりやすい内容でした。

特に、医療の進歩とともにアレルギーの考え方などが変化したことを、病院での経験を通してお話になり、より具体的にイメージできました。皆さん、真剣に聞き入っていました。

今回、参加できなかった会員の方からも資料の要望があっておりました。

また、講演会の後は、近くのレストラン「ビストロ・ラ・ポーレ」にて、美味しい料理と楽しいおしゃべりに皆さん満足でした。



福岡支部 秋のイベント報告

日時:2025年 11月3日(日)

場所:高山果樹園

内容:柿狩りツアー

今年も昨年度お邪魔した『高山果樹園』へ、『柿狩りツアー』に出かけました。おなじみの松藤号に加え、北九州から柿狩り初体験の姪を連れ私も参加しました。

到着後はまず、温かいお茶をいただきながら、さまざまな種類の柿を試食して一息。種類によって歯応えや甘みがまったく異なり、柿の奥深さを感じるとともに、どこか懐かしい味にも再会できました。残念ながら少し時期が遅く、収穫できる柿の種類はあまり多くありませんでしたが、温かな日差しの中で夢中になって収穫を進め、気がつけばカゴはぐっしりと重くなっていました。たわわに実った柚子の木もを見つけ、こちらも収穫！(笑)。もう少し早い時期であれば『ぶどう狩り』もできるとのこと、次回はぶどうもいいなと農園を後にしました。

ランチの予約まで少し時間があつたため、先に鳥居を見ようと『浮羽稻荷神社』へ。しかし、連なる鳥居を見上げているうちに時間が過ぎてしまい、ランチ会場の『風と野の紀行』へ急いで移動。看板を見逃すことなく、隠れ家的な古民家に到着しました。掘りごたつの部屋でくつろぎながら、野菜をふんだんに使った料理を一品ずつゆっくり堪能。飾られていた手作りのお人形も素敵でしたね。

お腹も満たされた後は、本殿近くに車を停めて再び『浮羽稻荷神社』へ。小学生の姪はエネルギーが有り余っていたのか、鳥居の参道を下まで駆け下り、また上まで戻るということを楽しんでいました。

最後は道の駅『耳納の里』で買い物。次の海外出張のお土産用に、私も地元の名産品を購入しました。

袋いっぱいを持ち帰った柿は研究室の学生たちにあつという間に食べられてしまいました。次回もぜひ参加したいと思います。
(城崎 由紀)



大学女性協会福岡支部推薦の国内奨学生(募集について)

今年度より郵送による募集ではなく、メールによる募集というシステムに変更いたしました。応募を希望される学生さんは、従来どおり福岡支部長宛にお申込みいただき、支部にて推薦を執り行います。

今年度は2名の応募があり、9月7日の役員会で推薦順位を決めて本部に提出させていただきました。若い研究者の成果に触れることは、最新の知見を得ることにつながり、わたしたち福岡支部会員にとって大変刺激となります。つきましては、今後も組織として取り組みを強化していけたらと思っております。

応募学生さんには、ご研究に基づくご講演を依頼したいと考えております。福岡支部推薦の学生さんによるご講演を聴講頂き、大学女性協会について一人でも多くの方に知っていただけたらと思います。

(一社) 大学女性協会 (JAUW : Japanese Association of University Women)

1946年に創設され、1954年に国際大学女性連盟 (IFUW : 1919年創立) に加盟。

2012年に一般社団法人となり、IFUWと協働しながら女性の地位向上を目指す、公益活動を行う非政府組織 (NGO : Non-Government Organization) です。奨学金事業、女性リーダーの育成、国内外の諸問題に対する唱道活動など多様な事業を展開しています。

Web ページ : <http://www.jauw.org/>

会費

入会金 1,000 円 (正会員のみ)

年会費 正会員 7,000 円 (IFUW 年会費を含む)

賛助会員 6,000 円



福岡支部は、1947年に設立され、支部会費は2,000円です。

国際大学女性連盟 (IFUW : International Federation of University Women)

世界 61 カ国の大学卒業女性による 国際非営利、非政府団体です。

なお、2015年4月より GWI (Graduate Women International) に名称変更しました。

本部はジュネーブにおかれ、3年ごとに加盟国各国回り持ちで総会が開かれます。

以下の目的を達成するために、各国でさまざまな状況に応じて活発な活動を展開しています。また、国連諸機関に代表チームを派遣し、世界の重要な問題に対して直接発言をしています。

目的

1. 女性の生涯にわたる教育を推進する
2. 国際協力、友情、平和と人権を推進する
3. 女性の地位の向上を擁護し、支持する
4. 公的および私的な生活でのリーダーシップと意思決定において、女性がその知識と技術を活用することを奨励する

